



西部ガス株式会社および株式会社日本炭素循環ラボとの 「都市ガス燃焼後排ガス中のCO₂利用に関する共同検討」について

2022年3月4日に、国立大学法人九州大学（総長 石橋 達朗、以下、「九州大学」）は、西部ガス株式会社（代表取締役社長 道永 幸典、以下、「西部ガス」）、株式会社 日本炭素循環ラボ（代表取締役社長 山下 知恵、以下、「日本炭素循環ラボ」）※と、2021年11月に締結した組織対応型連携契約に基づき、都市ガス燃焼後排ガス中のCO₂の回収と利用に関する共同研究契約を締結し、共同検討を開始しました。

本共同検討では、西部ガスの都市ガス事業に関するノウハウや、九州大学の学術的知見、日本炭素循環ラボのCO₂の回収・利用技術を融合させ、カーボンニュートル社会の実現に必要な、新しいCO₂回収・利用技術を創出することを目的としています。具体的には、ガスボイラー、ガスコジェネ、ガスヒートポンプエアコン（GHP）などのガス機器からCO₂を回収し、変換・利用するまでの一連のサイクルを検証・評価してまいります。

※低コスト・高性能なCO₂回収・再資源化技術の社会実装を目指す、九州大学発のベンチャー企業

■具体的な取り組み事項

- 1) CO₂の利用状況および潜在的な利用の可能性の整理
- 2) 都市ガス燃焼後の排ガス発生状況の時空間的な変化の整理
- 3) 都市ガス燃焼後の排ガス中のCO₂を有効利用する方法の検討

■CO₂回収/利用イメージ



以上

【お問い合わせ】

九州大学大学院工学研究院 教授 星野 友

TEL : 092-802-2826

Mail: hoshino.yu.673@m.kyushu-u.ac.jp